



十一月の天地

摩訶生

小春日や、櫻にかへり咲きあり、垣根に鶏の遊ぶあり、南窓に猫の仔の日光浴を試むるあり、林間に小鳥の春めきて相呼ぶあり、蒼空に鳶の高く舞ひ遊ぶあり。

初葦先づ樹下草間に傘を開き、松風の調幽なる處松葦相踵ぎて枯落葉を敷きて出で清香四逸に溢る。砂の松原に立つ老婆あり、籠の中に松露肩摩穀撃せるを見る。

椎跳ね、樺駘け、樺飛び、團栗走り、樺躍つて、

柚人の住む板庇にボツ／＼終夜響あり、密相盛に市場に上り、林檎益東北より来る。

怪しげに頰冠りせる鄙の女、嚙々として唐鍔を操つて鳥を穿つ、甘藷を堀り取るなり、降霜に先ちて堀らざれば全く廢物となり了るが故なり。

霜漸く下り始む、日は暮れて鎮守の森に鳥の聲寒く、夜は更けて空に遠吠の犬の聲白し、遮莫れ月明の夜は水と天と總て一白なるに消え行く千鳥の聲更に白し、若夫れ嚴霜の晨の光景に至りては烈更に侵すべからざるものあり、殘月白く、山路白く、岩白く、草屋根白く、窺も白く、獨木橋も白く、將さに渡らむとする樵夫の氣息さへ白し霜の盛なるや正しく一日の半を白化する力ありといふへし。

ねく霜に凍と氣高く菊の花、今を盛りと咲き匂

ふ流石に花の君子かな、色に黄、白、紫、紅、形には團、管、圓、平、其香其露や昔は稱す忘老延齡の藥なりと。

立田姫の仰か、霜は白化の手を以て更に天地を紅化せんとし始めたり、見よ先づ彼の嶺を、楓は頂巔に立つて黄ばみ、再變して鮮紅淋漓たり、崎嶇斷岸の溪に望みて嵯隣天に冲する青黒き岩柱をからみて鳶の千入の色深し、漸く下れば林の團栗日を透ひて黄濁色を呈し、山の隈なる荒庵に高く聳ゆる公孫樹は黄金色を夕陽に輝かし、野中の一本杉に葛蔓まといひて紅點し、長堤十里、馬士歌かすかなる處爐の並木の黄に紅の相交り、水涸れ枯れたる蘆の穂の長く鮎瘡せて殘軀を保つ淀みには流れもあへぬ紅葉浮ぶなり。

奥山に散れる紅葉を踏み分けて、鹿の鳴く昔の

あはれさは、猿九太夫一人の専有に非ざるなり、憐ひべし、やさしき彼に日頃壯觀を添へたりし双の角は漸く落ち始めむとす。

虹は隠れて跡なく、海士の鹽焼く煙立たすなりぬ一年曰く、吾五十にして天命を知ると。

血を踏む風の音のさむさりな 蕪 村

旅の土産 落 生

(二) 海人の生活

廣瀬旭莊歌うて曰く、

紀南風物真奇絶 到此唯疑天地別

十月牽牛猶有花 八旬老媪不知雪

山坂越えて又越えて、越へ行く先の三方は山に圍まれ南のみ海に濱せる荒村に石を並へし板屋根の漁夫の家は二十、此處は熊野の和深の里

見渡せば磯の彼方に浮べる小舟一つ二つ、舟なる人は裸にて洶然と海に頭倒ま飛び込みぬ、白き脛波際近く二うち三打ち早や水底に潜り入る、跡には小樽の浮ぶのみ、五秒十秒一分二分……短くとも三分、長きは五分許にして樽近く白泡立て、上り來る、右手は海草の一束小腋にかい込み、左手を舷にチョツと懸けたる……亂れ髪。

暫し憩ひて髪束ね、又相次で身を躍らして潜り入る、斯の如き兩三回、はだ寒からぬ頃なるに身をふるはして舟を濱邊に漕ぎよせて、三人四人形ばかりの襦袢かけ互に向ひて濱の眞砂に圓座をつくり、共に休みて何事をか高からずさゝめき笑ひ語り居る、年は慥に十七八、和布どる娘達にてありしなり。

頓て復た漕ぎ出で、くりかへす海布取り、斯く

て二時間餘して、おのがじし束ねし裙帶菜重げに家路に向ふ心の中を、われは讀み得たり其うれしげなる面持ちに。

磯吹く風は板壁の隙間を透して一燈光危からむどせる處、宿の主人嘗ての強き船頭は、しづ／＼我に語りける、浦の男子は多く濠洲邊へ出で行きて、殘る婦女子も潜水をなすもの多く、相應に身分ある家の子女も亦多く此業に従ふと。

然り、此里の男子は健なる男兒なり、身命を賭すとも其職に競ひ働くもの、平たくいへば唯大膽不敵の潜水業者なり。自から知らずして南洋群島さては南大陸に於ける明治の山田長政たるものなり、斯かる剛膽素朴の遠征男子等も一ト度故國を出づるに當りては、一言其妻子に告げていへるやう「よく我家を守るべし」也。

浦に残されし婦女子は奮然として皆鎌を手にし  
て幾尋の海底に恐しき魚屬と戦ひつゝ、和布切り採  
り稼ぐなり、腰にせる細はそを束ねんが爲なり、  
浮べる樽は別に繩によりて彼等の腰なる細帯に連  
絡しあるなり、此一人に一個宛の浮樽はこれ彼等  
が海底に潜り入りし間の生命の目標なり。

かゝる大膽なる行爲は他の勞働に比して幾分か  
收益の多きは事實なり、彼等は自から生活し、貯  
蓄をさへ爲すものあるなり。

三ヶ月に一回ばかり、此里に入り來る一人の小  
間物屋兼呉服屋あり、彼婦女子等はこれ待つて  
櫛を買ひ簪を購ふなり、襟を求め帯切れをたづぬ  
るなり、以て日夕其父兄親族などを待ちつゝある  
なりと聞く、やさしきは彼等の心なる哉。

澤山になりて淋しや声の花 歌 月

房州の婦人

松本 恒吉

自分は本年房州に遊んだが、其の婦人に就いて  
多少目に止つたものがある、勿論それは人間の俗  
眼にやらに映ずる美醜等の點に於いてはなく、  
即吾等地方の婦人と大に違つた處がある事であ  
る。

房州の婦人に就いて第一に驚く事は其の勞働  
を少しも厭はぬ事である、男子にも負けずに働く  
事である。而して其の働く事が如何なる種類であ  
らうとも決して恥ぢないらしい。又随分力量を要  
する事、例へば荷車をひく事や米麥を搗く事まで  
もやるのである。尤どこの國でも下等の婦女子は  
勿論この位の事はやらぬ事もないが、唯この國の  
婦女子は殆男子に代りて働くのである。だから一  
寸でも房州の地に踏込んだ方は見て居らうが、可

惜年頃の娘子でも随分多くが筒袖を着て脚絆を付けた軽い装で、わい／＼荷車を曳いて居る。而して此等の婦女子はさまで貧者の妻女のみでは無いといはれる。何にせよ其の體格といつたら頗強壯偉大で實に健全に發育して居る。故に此等の婦女子から生れた小供は鬼の様に強い事であらう。併斯いふと前栽の茄子でも採つてくる事は骨か折れるとか味噌澁を持つては井戸端迄行く事も恥かしいどかいふ事を標準として居る婦人には随分亂暴寧野蠻に見えるかもしれないが、要するに房州に於いて中以下の家庭にある妻女は中々有福な身分でも、先この通で少くとも此の精神だけは悉く持つて居るであらう。

だから此の地方の婦人は他地方に比して非常に素直で殆虚飾といふ事を知らない、従つて誠に勤

勉でもあれは節約でもある。殊に濱邊の妻女は男子の漁業を助くる餘暇で農業を營むといふ事で、この農業は全く婦人の副業になつて居る、兎に角此國の婦人は一般に質朴で勞働を惜まないから東京あたりで女中は房州者が正直でよく働くとはいふ評判が高いのも決して無理な事ではない。或人はこんな事をいつた「之は幼時から習慣をつけて置くのだ、此間の祭に少女がヤリヤトハリヤトの掛聲でふ村祝の山車を曳いたのを見たがあれも其の習はしではあるまいか」と、全くそうでもあらうそれに今一ツ違つた事は貧富にかゝはらず成人する前に必一回は東京へ奉公に出るゝの事である。下女になり小間使になり其の身に應じて修業して來なければ先相應の家には嫁に行けないとの事である。

先右の様の事は房州に入る者には誰にも目に見えず耳に聞える處であつて、固より感服すべき事もあり首肯し難いものもあるが、其れ等を見る人聞く人の意見に任せ置き、之から少々房州婦人を代表する様な極質朴な婦人の集會に就いて談じやう是が實に此題目に對する自分の精神なのである。此の集會は安房郡豊田村にあつて梅澤婦人經濟會といふのである。自分はよい便宜があつて思ひがけず親しく此の集會に接する事ができた。また餘り年も經ず會員も少いのであるが、房州ではまゝ山の奥ともいはるべき僻邑にこんな婦人會が設けられて居て、而もその質朴で濃厚篤實な會員の言行を親しく見聞しては、吾も人も恐らく之を房州否少くとも日本婦人の模範にしたい位との念慮の起らぬものはあるまい。(これに此地の男子は

已に報徳社を組織して居るのだから、此附近こそ所謂美風良俗の地といはうか)。余は此集會の前途誠に多望なるを思ふて、偏に其の健全なる發達を祈ると共に又諸方に斯う實質に富める婦人會を起して貰ひたい。偽善や虚飾の爲に起した集會よりも大に美事ではあるまいか。されば先づ、に其の經濟會の趣旨と規約の主要とを紹介して御參考に入れやう。

豊田村梅澤婦人經濟會規約

凡そ何人を問はず苟一家を爲せば必生計の費用之に伴はざるべからず、實きも賸しきも其の富るを實しきも隨ひ多少の差別はあれども衣食住に世間の交際の子女の養育に或は不時の支出等に至る迄一として經費を要せざる事なし、此等經濟の任に膺る一家の主婦たるものは細心翼翼常に在て其分度を守り勤儉を行ひ貯蓄を力め家の内外ともに其體面を全くと資産を増殖して子孫の繁榮を希圖すべきなり、然るに今や世の風潮さみに一變し華美に流れ衣食住より日用諸般の事に至るまで大に其分度を越ゆるもの、如し、之を以て推移せんには毎年如何にしてか子孫の繁昌を期

せん、夙夜之を思へば轉々寒心に堪へざるものあり、妾等並に微力を顯みず奮て婦人濟經會を振起し一家政計上の弊風を改め奢侈ならず吝嗇ならず必要なる出納を正しく不必要なる冗費なき、内は一家輯睦して益幸福を増進し、外は世間の交際を圓滑にし一家の體面を保維し家政を整へ資産を殖し、以て子孫を永遠の安きに置かん事を誓ふ、庶幾くば一滴の水百條の流れ勤めて止まずんば終に彼岸に達せんのみと爾云。

明治三十四年三月

規約

第一條 本會は婦人を以て組織し經濟の道を研究して之を實行し且貯金を奨勵するを以て目的とす

第二條 本會は經濟の道を研究して之を實行し家政を整理するの目的なるを以て會員平常の業務の大率左の如し

- 一、毎年度各自家の出納を計算し其實産相應の分度を立つる事
- 一、日々の生計上には特別の注意を加へ炊事塲壘所勝手納戸塵敷食器食物薪炭衣服庭園等諸般に就き其經費を節約する事
- 一、各自間に於て執行すべき兒女三七の祝婚姻上棟式及諸般の祝儀葬式忌中拂念佛其他冠婚葬の諸式に關する經費は總て節約を守り其分度を超ゆべからざる事
- 一、勤儉貯蓄を實行する事
- 一、節儉度に過ぎ各に流れざる事
- 一、以上諸般に亘り一朝改良し難しと雖も易より難に及べし逐其改善を圖るべき事

第四條 本會は毎年一回或は二回名望家を聘し經濟上の講話を聽聞する事

第八條 本會は毎月二十日總集會を開き經濟問題を談話講究し且平素事業の餘暇を以て製作したる進又は繩の如き物品を價格金五錢を目途として醜集する事

第九條 幹事は毎月二十五日限り取纏めたる物品を賣却し各自の帳簿に其金額を記載し交付すべし

但現金は確實なる銀行に預け入れ利殖するものとす

第十條 本會は滿十ヶ年を以て一期とし滿期に至れば各自貯金の高に應じ配當するものとす

第十一條 期間内に滞納ありたる時は滿期に至り納金の額に應じて配當するものとす

第十二條 會員にして死亡轉居其他正當の理由に依り退會を申出るものある時は總會の決議に依り期間内と雖退會を許認し且現醜集金を拂戻すことあるべし

右の文面から推して先美事な事が分る。それ  
 じぶんは役員諸氏の人物風采で大に其實質がある  
 事であらうと思ふ。尙各自が筆記して所有せる家  
 政整理と題する冊子中に其の實行の手初として記  
 入せるものがあるが、余り長くなるから夫は省略

する、たゞ之を見て余は其の書き振りが餘り四角張つて書いてあるから或は表面許りの事になりはせまいか、又無學の婦女子までも盛に徳化してやらうとするには或は解し難い爲に如何いふものども臆測したが、併しこんな事は言ふにも及ばぬ、唯其の局に當る人達の方針や才能次第で如何でもなる事であらう。思ふに此の梅澤婦人經濟會はこれから着々として發達し奏効して行くに相違あるまい。そこで余は謹で房州の婦人を代表した積りで此の會を紹介しないでは居られぬ。現時の婦女子方に願はしい事は、たゞへ如何なる僻地にくすぶり居らうとも奮て斯る質朴な有益な集會を個人の爲又公衆の爲に設立して充分に盡碎して貰ひたい事である。(完)

幼稚園を出た兒童も家庭から行つた兒童との學校での成績の比較(承前)  
 高等師範學校 尋常科第一學年  
 附屬小學校

比較強弱	家庭	幼稚園	在園人員		文科	理科	技藝科	全科
			年月	年齢				
		二年	二六	三	身書文約	算術	習字唱歌	七三
			二元	七、五、六、七、七、七、七				七三
								七三

同高等科第二學年

比較強弱	家庭	幼稚園	在園人員		文科	理科	技藝科	全科
			年月	年齢				
		二年	二〇	三、五、五、五、六、七、七、七、七、七、七、七、七	身書文約	算術	習字唱歌	七三
			三元	七、五、六、七、七、七、七、七、七、七、七、七、七				七三
								七三



同中學校第五學年

比較強家	幼稚園	在園八年齡		文	科	理科	技藝科	科全
		年	月					
二二二	二二二	二二二	二二二	倫理	國語	漢文	英語	地理
二二七	二二七	二二七	二二七	英語	國語	漢文	英語	地理
二二九	二二九	二二九	二二九	英語	國語	漢文	英語	地理
二二七	二二七	二二七	二二七	英語	國語	漢文	英語	地理
二二九	二二九	二二九	二二九	英語	國語	漢文	英語	地理
二二七	二二七	二二七	二二七	英語	國語	漢文	英語	地理
二二九	二二九	二二九	二二九	英語	國語	漢文	英語	地理
二二七	二二七	二二七	二二七	英語	國語	漢文	英語	地理
二二九	二二九	二二九	二二九	英語	國語	漢文	英語	地理
二二七	二二七	二二七	二二七	英語	國語	漢文	英語	地理
二二九	二二九	二二九	二二九	英語	國語	漢文	英語	地理

Vor dem Anfang rich' aufs Ende  
du dein Augenmerk,  
dann erst munter und behende  
Leg' die Hand ans Merk!

事の始に當りて先づ其終に注目せよ  
然る後は勇往果敢以て其事業に着手すべし



●御下賜金 皇后陛下には女子大學校の趣旨を御聞こし召され、過般御手許より金二千圓同校へ御下賜あらせられたる由。何時もながら陛下の大御心を女子教育に注がれ給ふことの御深き、申すも文ことに畏るることこそ。

●家事科教員傳習所 は先月六日卒業式を舉行し、中山民生、伊藤貞勝氏の報告、岡部子爵千家府知事松田市長等の祝辭、生徒總代の答辭ありて後立食の饗應あり午後二時散會せる由

●家庭學校内の練習學校 家庭學校長留岡幸助